越谷町広報

定価一部二円
編集と発行
埼玉県南埼玉郡
越谷町役場
電話越谷42,517,519,522番

合併三周年
記念特集号

11月22日は消防団査閲のため午前6時30分にサイレンを吹鳴しますご諒承下さい

町の執務時間変更

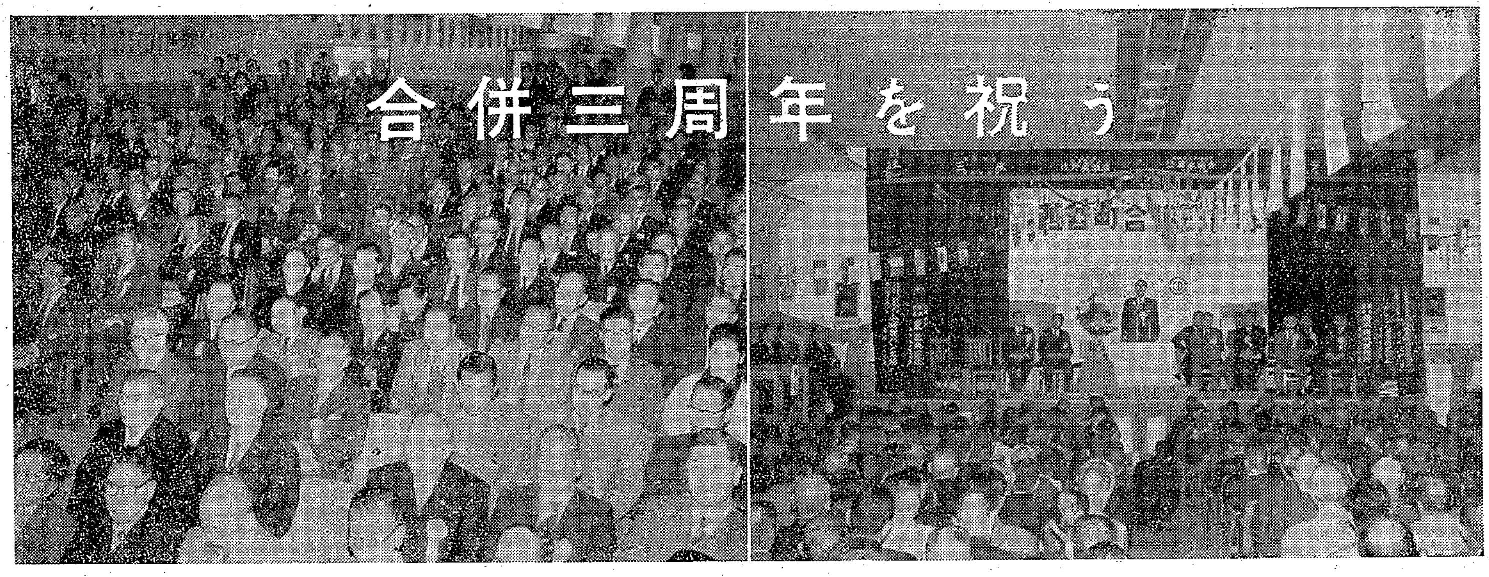
町役場の執務時間が次のように変りました

一、晝休みを十五分短縮し十二時三十分から執務いたします

一、終業は十五分早めの四時四十五分になりました

一、この執務時間は十二月一日から明年一月末日まで行います

合併三周年を祝う



二日間の盛事終る
五百名による厳粛な式典

越谷町が円満裡にしかも全国稀な大きい町として合併したのが昭和廿九年十一月三日……それからかぞえて早三周年を迎えた、この喜びを町民皆さんと分ちあおうと、越谷町合併三周年記念行事を去る三日、四日の二日間計画いたしました、幸い当日は躍進越谷町を祝福するが如く晴天にめぐまれ、三日の式典を皮きりに祝賀の行事が展開されました

三日午前十時には越谷映画劇場を式典場に、県知事殿をはじめ衆参両議員、埼玉県町村会々長同町村議長会長、その他県郡地方自治体関係者名士多数並びに町議会議員、町内公職者多数のご臨席のもと、約五百名による合併三周年式典が挙行されました、まず式典は池ノ谷助役の開式のことばにはじまり、大塚町長、横田議長から別掲あいさつがのべられたあと、自治功労者の表彰にうつり、大塚町長から三十一名の自治功労者に表彰状と記念品が贈られ、その功績をたたえました、ついで県知事殿をはじめ名士多数の当町発展を祝す祝辞がのべられ、披表彰者代表井橋氏から謝辞があったあと、栗原埼玉県知事の発声で参列者一同と万才を三唱してとどこうりなく幕をとじたのでありました

栄ある自治功労受賞者

（順不同敬称略）

小川安太郎、吉岡信儀、細沼愼介、瀬尾哲太郎、島村初太郎、堀井平次、高野高三郎、大野伊右衛門、小船吉左衛門野口八郎左衛門、神谷利左衛門、田中藤蔵、関根重造、中村文吉、池ノ谷誠太郎、斎藤茂右衛門、中村千枝、島田亀一、石川三津蔵、林専次郎、萩原弁太郎、浅子斉輔、飯島よし、船川多市、永野新太郎高橋近蔵、小泉市右衛門、浜野梅次郎、井橋太郎兵衛、田中吉之助、会田宗太郎

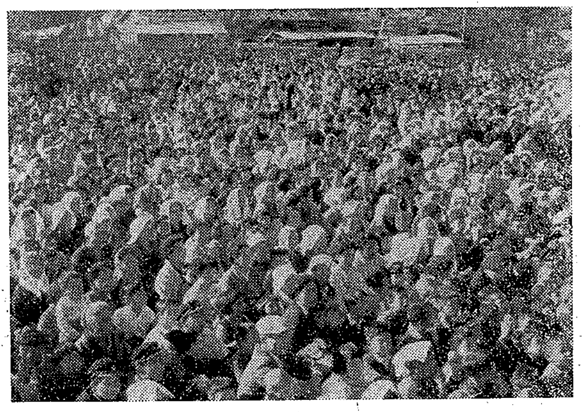
以上31名

越谷音頭発表会

一万有余人の大観衆
笑いと興奮と和を横溢

清涼の気みなぎる秋日和のもといまかいまかとまちかまえる一万有余人の大観衆を前に、

越谷町合併三周年を祝う越谷音頭発表会は、越ケ谷小学校々庭を会場に午前の式典につづいて午後二時開始されました、先づ発表会前、越谷音頭歌詞募集作品多数の中から見事入選の栄を得た横山さん並びに佳作になられた三人の方々に表彰状と賞金がおくられ、また越谷音頭作成に多大のご協力をいただいた秋元氏に感謝状がそれぞれ贈呈され、町長、議長商工会長から祝辞をいただいていよいよ待望の発表会にうつりました、林伊佐緒、照菊の一流歌手とあつて早くから会場につめかけた観衆に応える分囲気は、次から次へとくりひろげられる発表にかもし出されていきました、越谷音頭の振つけ発表を藤間勘紫乃さん他三名によつてあざやかに観衆に披露すれば、林伊佐緒、香川まち子、照菊の各歌手が交互に越谷音頭やヒット曲を披露して大観衆を魅了しました、司会者も玄人だけあつてユーモアータツプリ、終始、笑いと、興奮と和やかさを、会場一つぱいにおおいつして、合併三周年記念越谷音頭発表会は午後五時半とどこうりなくおわりました



〔写真説明〕上は一万有余人の観衆、下左は越谷音頭振付披露下右は歌手による越谷音頭発表

埼玉県観光写真コンクール

主題＝埼玉県観光写真一般（風景、行事、風俗、産業、芸能その他）

サイズ＝六ツ切または四ツ切

締切＝十二月末日

送り先＝県庁内埼玉観光連盟写真コンクール係または埼玉県写真材料組合商加盟店

応募上の注意＝応募作品はお返ししません、ただし返送料添付の場合の落選作品はお返しします、入賞作品の版権は主催者に属します、入賞通知を受けた方はネガをお送り下さい、作品には必ず裏面に画題データー、住所、氏名、年令記入のこと、使用材料は富士フイルム製品をご使用下さい

賞＝推せん一名二万円と副賞

発表＝昭和三三年一月末日

町長 式辞要旨

過去三年は整備の時期
今後は擴充の時期

三年前町村合併促進法の適用によりわが越谷町が発足した際、幾多の困難が横たわつておつたのでございます、いわば合併一年は揺らんの時期であつたのであります、ゆりかごにもたれていろいろの不評や希望をならべたてられ、各地域まちまちの意見をいかに調整するかは、当町合併促進協議会のかたがた、町議会議員方々のなみなみならぬ苦労があつたのでありますが、幸い各位の大きな御協力によりましてどうやら満三才をむかえたことは、その局にあたるものとして満感胸にこもごもせまるものがあります、一年の揺らん期を経て旧町村の諸問題を調整し更に二年、三年はこれを地域的なそして具体的な事項を充分に把握して整備してまいつたのでありますその間皆さんには大きな迷惑をかけ或いは又ご不満をおあたいしてまいつたことは、私三年をかえりみて心中まことにじゆく知たるものがあります、しかしながら石にも三年という諺のとおり冷い石の上に座つていれば…三年たてば何とか温くなるというたとえでありますが、われらの未じくな町政にもかかわらず三年間を経過してまいつた今日、こうして皆さんの手厚いご賛同を得て、ここに記念式典をあげたということにはやがてまがりなりにもわが三カ年間の越谷町政の発展を意味するものであると私は固く信ずるものであります、然しながらわれわれの前途には今後決して容易でないのであります、先般記念式典を計画したさいある人は私に問うていいました「あなたは三周年の式典を迎えいかなる所感ありや、いかなる考えありや」私はこの質問に対して「三年間まことにおはづかしいが、今後こそわが越谷町建設の大きな希望があり又大きくひらける将来があるものと信じて、われわれはこれに邁進しなければならない」と答えました、有名な孔子の論語の中には「いやしくも我れに我れを用いるものあるならば三年にしてなるあらん」と申しています、古代中国の聖人である孔子であるならば三年をもつてしてかりに町政をあづけるならばたちまち善政を確立し施行したことであろう、しかし私の如き平凡な人間がこの局にあたるとすればあるいは五年、十年をおかりしなければならない…前途にはまだ沢山ある中学校の統合、各地にこうはいとしておこつている土地改良その他上水道において未曾有の予算をもつて着工しようとしており、あるいは消防にその他行政各般にわたる前途は重且つ大であることを心から痛感しておる次第であります何卒本日の式典を契機として自治功労者の方々をはじめ関係各位の方々とくに御来賓方のお手厚い御協力御指示により、明るい住みよいわが越谷町建設のため皆さんと共に手をとりあつて進もうと存じます

議長あいさつ要旨

わが町は発展途上
今後は町育成に努力

越谷町合併三周年記念式典にあたり、県知事殿をはじめ名士諸賢多数御臨席を賜り、ここに越谷町議会を代表し所懐の一端を申し述べる機会を得ましたことはまことに喜びに堪えません、今から三年前の本日、越ケ谷町外一町八カ村の大同団結なり、その翌年には川柳村の一部編入合併をみここに大越谷町建設の構想が実現しました、この間町民各位には新町建設完成のため真剣な努力と涙ぐましい協力をいたされ、ために諸事業が極めて順調に進められておりますことは、われわれ町議会議員としまして感激いたすところであります、町議会におきましては住民の要望を常に町当局に反映し、住民の福祉増進に協賛してまいりました、越谷町は東武地区の中核的市街地として着々発展の途上にありますが、建設的諸事業はこれからであります、町議会は過去三カ年間歩みきたつた幾多貴重な体験を活し、町当局並びに全町民と共に打つて一丸となり、町発展の諸施策遂行に懸命の努力を奉げたいと存じます、かつて役場庁舎の新築、産業の振興、小中学校の増改築、更にかねて待望の上水道事業も近く着工されるなど、文化都市建設のための幾多の構想は遂次行われつつあります、このようにしてわが越谷町は漸次近代的文化都市としての実を備えつつあります、私は本日の盛典にのぞみ、合併三周年を契機とし今後における責任の重大なるものがあると痛感じ、今後の町育成と住民福祉を増進していかねばならないと存ずる次第であります、本日御臨席を賜りました来賓各位の当町育成にお寄せ下さいました御理解と御協力に衷心から敬意と感謝をいたすとともに、今後のご指導御協力を切望いたします

綴じて御保存下さい

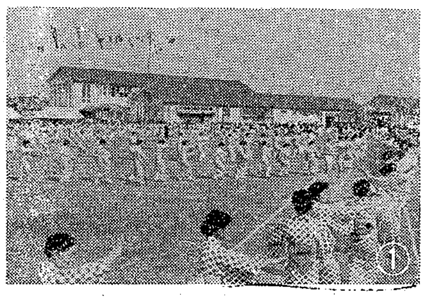
町民体育祭

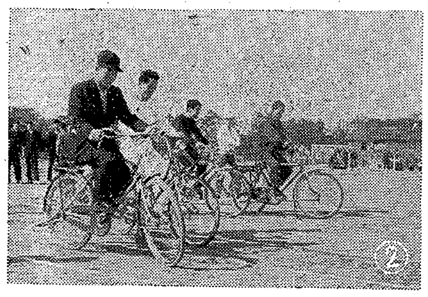
紺碧の越中校庭に

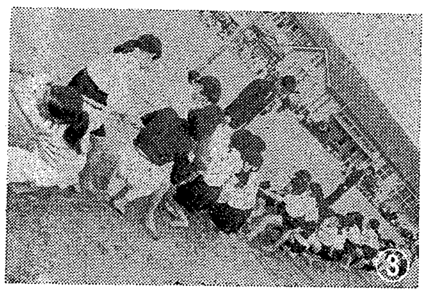
和合の種目を展開

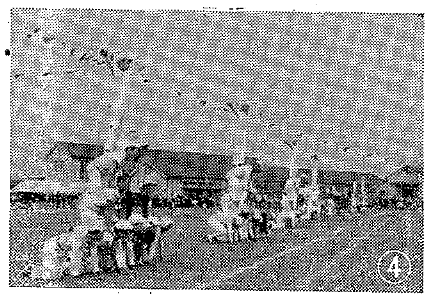
合併三周年記念行事第二日目は、町をあげての第二回町民体育祭で、早朝から会場の越ケ谷中学校々庭へ、小中学生、青年団、婦人会、一般約五千名がつめかけ、午前九時三十分開会式が挙行されました

各地区共プラカードを先頭に堂々の入場行進が行われ一同整列したあと、体育協会長、町長、教育長からそれぞれ合併三周年記念行事として行われる本体育祭はまことに意義あるもので、日頃の技と力を十分に発揮していただきたいとのべられ、小学校六年男女によるラジオ体操を最初に次から次へと種目が展開されました、なかでも婦人会の民踊、親子競走、幼児たからさがし、自転車おそのり競走など体育祭らしい雰囲気を校庭一ぱいにくりひろげ、観衆からの拍手はしきり、地区対抗リレーを最後にとどこうりなく幕をとじました









〔写真説明〕右は生徒二千人による旗行列　左(1)婦人会の民踊(2)自転車遅乗り競走(3)小学生の東西綱引き(4)中学生の組立体操

体育会場は旗の波

小学生二千人の旗行列

合併三周年を祝う旗行列は体育祭と併せ越ケ谷、大沢両小学校全生徒約二千人により行われました、両手に日の丸の国旗をふりふり市街道路を行進し、十二時十分体育会場へ入場してきたその光景は、体育会場一面旗の波で壮観なものでありました、一同整列したあと町長から答礼のことばをいただき、さらに町長の発声で万才三唱を行い、その声は秋空に沖しました

図書館だより

去る十日午後一時から図書館主催により俳句大会が役場会議室に好句者多数参加の上開催されました、以下その優秀句は次のとおり

▽町長賞今井里秋（蒲生）▽教育委員長賞金子泰岑（蒲生）▽教育長賞鎌田容克（大沢）図書館賞落合もと子（蒲生）同中村清梅（蒲生）以下略

私語多く枯野よぎりぬ農夫の葬　今井里秋
枯野来て群鳥に声落さるる　金子泰岑
野の枯や川へだて牛応え合う　鎌田容克
川波の暮れて枯野の小店閉ず　落合もと子
枯野の牛描かれていて糞落す　中村清梅
覗く土管に秋の古利根あたたかし　渡辺渡
町に入るまでの枯野を頬かむる　吉沢瑞江子
冬陽に透く川底の砂利どこか光る　加藤すゝむ
灯火親し農夫は爪を剪ることのみ　平川古梅
射たれ鳥握り茫々たる枯野　松沢嘲子
瞑暗に老聟の独り稲扱ける　山崎畔草
枯野来て又遠まわりして帰る　飯田草人
稲架越しに牛搏つ音のすぐ消える　須賀伝次
父を焼く煙り枯野へ真直ぐに立つ　中野まさ子
掌より掌えうつし新米検られ居り　鈴木鄧林
枯野来ぬ隣に女医の往診車　飯島日精
蟷螂をもてあましたる小猫かな　小舟白富
犬のせて人工衛星文化の日　林水竜
かたくなに女一人往む紅葉期　原喜代子
洗髪乾きて軽し月見草　鈴木美代子
枝のまま持ち込む柿や汽車の中　秋山默堂
自転車と行く人大股に草紅葉　池谷幽花
稲扱くとひしひし手より足よりの疲れ　石垣昌義
末枯野一つ家の事吾も知る　鈴木みえ子
枯葦に雲の匂へる一と日あり　熊谷夜詩郎
赤とんぼ指もて觸るる時孤愁　会田都詩子
自動車の光芒は過ぎたあと名月　秋山康人
秋桜見て居れば朝の影生る　今井昭一

各地区の話題

あちら　こちら

大相模で通学安全の横断幕できる

大相模地区の大字東方学校入口と、東方藤屋さんの通学道路入口二カ所に立派な横断幕が去る二十日立ちました、ここは通学児童生徒の交通事故が多いところから、日頃父兄達が注視しておつた処だけに今度の横断幕設置には非常に喜んでいます、この設置には特に越谷町交通安全協会指導のもと、大相模地区交通安全協会役員中村喜四郎、斎藤亀之輔、藤井保吉の三氏、藤井駐在官、川辺校長、PTA役員かたがたの子供の安全を願う熱心な計いと協力によつて立てられたものです、その翌日には道路の歩き方について実地訓練も行われました

大相模小の山崎、島根両君県警から表彰さる

大相模小三年の山崎進、島根真の両君は、六月廿日に地内の谷古田用水で魚取りをしている際近所の秋山さんが用水に落ちておぼれようとしているのを、両君が協力して助けあげました、この美しい行為は埼玉県警察本部に申請され、このほど表彰されることになつたものです

（以上大相模小学校より）

亡父の遺言で香典の一部越小へ寄附

当町越ケ谷御殿の吉田菊太郎さんは、病に勝てずついに去る十九日八十六才の生涯をとじ不帰の身となりましたが、臨終の際香典は社会のために役立つようにしてくれと嗣子吉田梅三さんに残して他界されました、吉田さんはこの遺言を守つて、たまたま越ケ谷小学校に講堂建築の気運あることを聴き、早速越小校長山田先生を訪れ、その建築費の一部にと五千円を前記亡父の遺言をのべ寄附されました、校長先生をはじめ教職員全員はこの行為にいたく感激し、そのすじえ手配するとともに一日も早く講堂が再建されることを望んでいます、なくなられた吉田さんはもと牧師をしていた関係で、つねに社会のために意を注がれておつたということです

（越ケ谷小学校より）

吉野さんが越小にカップ五個寄贈

越小恒例の運動会が去る十月廿三日盛大に挙行されましたが、越ケ谷音羽町の吉野さんは、運動会に役立ててくれとカップ五個を越小に寄贈されました、これによつて例年になく盛大に行われることが出来ましたと、山田校長は語つておられました

解説

十一月一日から施行の押賣り防止條例とは？

家庭の留守をあずかる奥さんがたが、時々いやな思いや恐ろしい思いをさせられるあの押売りをなくし、安心して留守の仕事ができるように、こんど県では押売り防止条例をつくりました、この条例は十一月一日から施行されました、みなさんと力を合わせて押売りをなくしましょう

さて、この条例はどういうことをきめているのでしょう、先づこの条例の目的である「押売りをなくして生活を安全にしよう」という点から、こういうやり方をしたときに、取締りをするということをはつきりきめています

(1)行商をことわられたのに、なかなか帰らない（いらないとことわつても帰ろうとしない）

(2)こちらが承諾しないのに、品物をひろげてならべたり、またはすわりこんでしまつて動こうとしない（勝手に玄関などに品物をならべたり、すわりこんだりしたとき）

(3)行商、広告募集または寄付募集をことわられたとき、ことわつた人やその場所に居合わせた人に、不安な気持を起させるようなことばを使つたり身振りをしたり、または家の建物や道具などにいたずらをするようなこと（ことわられたとき、腕まくりなどして「昨日刑務所から出てきたんだ」「オレは前科者だ」などといつて人に不安な気持を起させたり、玄関などにツバをしたりしていやがらせをするとき）

(4)頼みもしなかつたり、いいともいわないのに、加工したりまたは修理をしたり、その他の仕事をしたり広告したりして、そのことについての代金や報酬を要求すること（頼みもしないのに新聞を入れたり、消毒をしたり、広告をのせたりして代金を要求するとき）

(5)人の迷惑となるような非常に粗野な、または乱暴なことばや仕草をすること（「こんな安いものが買えねえのか」「地獄に金はもつちや行けねんだ」など、荒つぽいことばや動作で売りつけようとするとき）

(6)人を非常に困らせたりいやな感じをもたせたり、または身分をごまかし、品物の中味など、本当のことをいわないで、人をごまかすようなことをいつたりしたりすること（人のいやがる病気でもしているようにみせかけたり、身体の不具の部分をわざと出して同情させて品物を売りつけたり、有名な品に以せたり、まぎらわしい団体の名を使つて悪い品物を売りつけするとき）

以上のようなやり方をした人には次のように罰することもきめています

(1)一回だけでもこういうことをしたものは三万円以下の罰金か、拘留（一日以上三十日以内監獄に入れておくこと）になります

(2)常習にやつている者は六カ月以下の懲役か五万円以下の罰金になります

そこで、もしこういう押売りなどにあつたら近くの派出所か、直接警察署に届けてください

念のため申し添えますが、この条例は普通の善良な行商人や、広告募集、寄付募集金をする人たちには関係はなく、どこまでも押売りなどの悪いやり方をする人だけ取締ろうとするものです

（埼玉県警察本部）

広報板

来る廿九日まで　増林地区の家屋調査

逐次、日をおうて全地区にわたり実施しようとしております家屋調査は、すでに越ケ谷、大沢、大袋、桜井、新方の各地区をすませ、今度次の通り増林地区にうつりました、なお雨天の場合は順延することがあります

▽調査実施期日
増林地区＝去る十四日から来る廿九日まで

原動機付自転車の鑑札付替をされない方へ

去る十月廿三、廿四日両日にわたり原動機付自転車の鑑札付替を実施いたしましたが、まだ付替をされない方がありますのでその方は至急役場税務課にて付替をして下さるようお願いいたします

（以上二件税務課）

申告所得税　第二期分納期のお知らせ

所得税第二期の納期は去る一日から来る三十日までの一カ月間です、納期限内にお済ませ下さい

（春日部税務署）

二六日から　火災予防週間

寒くなると火が恋しくなるいよいよ火災シーズンになりました、こたつやかまどや焚火などの火の後始末、子供の火遊び煙突、石油コンロ、たばこの吸殻などとくに注意いたしましょう、火災はわたくしたちの尊い生命、財産を一瞬の間に灰にしてしまいます、防火には百のポンプより注意一つが大切です、十一月廿六日から一週間、火災予防運動を展開しますので防火には一層ご協力をねがいます

旧軍人の恩給手続を

恩給法制定以来二周年を経過しました現在、旧軍人の普通恩給及び普通扶助料（一時恩給、一時扶助料）の請求事務については大半処理されておりますが、まだ左記に掲げる該当者で請求の手続きをしてない方は年度内に請求書を提出されるようお知らせいたします、なおくわしいことは厚生課へお問合せ下さい

△昭和廿一年勅令第六八号施行前に普通恩給、普通扶助料を受けていた者（普通恩給並びに普通扶助料）
△引続き実在職年が七年以上十二年―十三年未満の者及びその遺族（一時恩給及び一時扶助料）

おわび　本号にのせる予定の十月分小売物価調査結果は次号に掲載いたします

しあわせはどこに？

11月15日〜12月20日
歳末特別貯蓄運動

むだをはぶいて貯蓄しましょう

しあわせは、あなたの毎日の生活の心がけ次第で簡単にあなたのものになるでしょう。たとえば貯蓄をふやすこともその一つです。

町営公益質庫・越谷病院・出羽・新方診療所をご利用下さい